

# LRT 特別講演会

テーマ：公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり

講師：富山市長  
森 雅志氏



(撮影 高橋 輝行氏)

LRTは単なる交通手段ではなくまちづくりの重要な道具

日本で唯一車社会からの転換促進を実行する富山市長

参加費無料



5月15日(日)

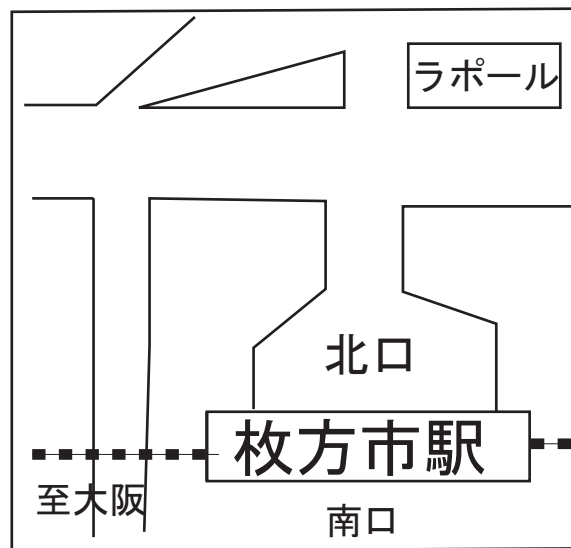
午後2:00~3:30

ラポール枚方(枚方福祉会館)

枚方市新町2-1-35

TEL 072-845-1602

京阪本線枚方市駅から徒歩3分



出生率の低下による少子高齢化・人口の減少・原油価格の高騰によって日本社会は、低成長期に突入したと言えます。まちづくりにおいても大きな転換期を迎えているものといえます。

富山市ではモータリゼーションの進展は、低密度な市街地の外延化・公共交通の衰退化・都心部の空洞化を引き起こし、経済活動の低下や都市の魅力喪失を招くことになるという自動車を前提としたまちづくりからの転換を図りつつあります。2010年 富山市勢要覧では”超高齢・人口減少社会を見据え、誰もが自動車に頼らない公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりを推進します。”と高らかに宣言をしておられます。

富山市のコンパクトシティ構想の経過は、次のような経過をたどっています。

- 1 平成18年4月 富山ライトレール開業
- 2 平成19年2月 中心市街地活性化基本計画第1号認定
- 3 平成21年12月 市内電車環状線開業

コンパクトシティ構想の中心思想は、公共交通の活性化・その利便性の向上によって自動車に頼らない都市の創造を目指しているものと言えるのではないのでしょうか？平成18年富山ライトレール開業以来のその顕著な導入成果は、如何なるもののでしょうか？

主催：枚方LRT推進会